

日本語教育実習を終えて

115J038 瀬井早苗

私は10月15日から10月26日までの二週間、王子国際語学院で教育実習を行った。実習校の王子国際語学院は、日本の国、公、私立大学や専門学校に入学を希望する外国人学生に、予備教育としての日本語の指導、大学入学に必要な科目の補習および進路指導に積極的に取り組んでいる蕨市にある日本語学校である。

授業見学

実習が始まるとすぐ、事前打ち合わせで配布された二週間の研修プログラムの通りに授業見学を行った。主に初級クラスを中心に見学したが、中級や上級のクラスも2クラスほど見学した。文法の授業だけではなく、漢字の授業も見学できたことで、良い刺激になった。見学中は、授業の進行の仕方だけでなく、どのような言葉を使って学生に理解させようとしているか、補助教材として何を使っているか、学生の授業参加度はどうかなど、色々な視点で見学する必要があると感じた。クラス見学は、後ろで見学することが多いが、学生の会話の相手になったりもした。

教案作成と教壇実習

教案は、担当する箇所が伝えられたときから、少しずつ自分で組み立てていった。一週目の半ばくらいに指導教員の先生に見てもらい、どのようにしたら学生が反応してくれるか、フラッシュカードや絵カードの提示の仕方などをどうするかを教えてもらった。担当する『みんなの日本語初級』の17課と34課の教案をそれぞれ作成した後に、先生方からアドバイスをもらい、板書の仕方や補助教材の印刷・作成を行った。

教壇実習は、2回担当した。1回目は、10月23日の午前の2時間目で、1Gクラス（2018年度7月入学生／『みんなの日本語初級Ⅰ』の21課～23課レベル）で授業をした。学生数は20人。担当の課は、17課だったため、17課の新出単語、「ない形」の文型練習をした。2回目は、10月25日の午後の2

時間目で、1Dクラス（2018年度4月入学生／『みんなの日本語初級Ⅱ』36課～39課レベル）で授業をした。学生数は20人。担当課は34課だったため、34課の新出単語と「(動詞た形)とおりに」と「(名詞)のとおりに」の文型練習をした。

(表1参照)

1回目の登壇は、とにかく緊張していて時間の感覚もなく、学生のほうもよく見ずに進めてしまっていた。自分のことで精一杯で、学生とコミュニケーションをとるといった基本的なことも忘れていた。声の大きさやフラッシュカードと絵カードの持ち方を、フィードバックの際に指摘された。自分で気づいたことも何点かあったため、改善しなければと思った。2回目は、1回目よりも自信を持って授業ができた実感できた。未修の語彙は使わない、教科書のページ数アナウンスの繰り返しなど、フィードバックのときに言われたアドバイスを取り入れた授業をすることができたと思う。最後に時間が5分ほど余ってしまったときの対処を、もっとうまくできたら良かったと感じる。2回やった実習を比べて、やはり事前の準備の差が授業作りの差になると思った。「準備は多すぎるくらいしておけば、安心して授業をすることが出来る」ことを実感した。小物にせよ、写真にせよ、何かしら興味を引く視覚的な情報があると、学生の反応は本当に変わるということが分かった。

大学の1年から3年にかけて大学での講義を受け、基本的な知識を学んだ気でも、実際の現場に出てからさらに学ぶことはたくさんあった。大学での講義では一人だったが、実習の現場では私一人ではなく、研修生として北海道から来ていた同年代の方もおり、お互いに教案チェックや意見交換などをする機会があったため、有意義な時間を過ごすことができた。教壇実習は、模擬授業とは比べ物にならないくらい緊張した。教壇に立つということは、学生の視線を集めることである。これは、何度も繰り返し立ち、その場にすることに「慣れる」しかないのだと思う。さらに、立っているだけでなく「教える」こともしなければならぬ。そのためには、「自分が教える」という意識を持って取り組む必要があることが分かった。

日本語教育実習と国語科中学校教育実習の違い

日本語教育実習と国語科の中学校教育実習のどちらも体験したことで、日

本語教育と国語教育は全く違うということが分かった。日本語教育の学習対象者は、外国人なのに対して国語教育は日本人であること、1クラスの規模も日本語教育はだいたい20人（学校による）なのに対して国語教育（学級）はだいたい35～37人であることなどである。教え方に関しても、根本から異なる。国語教育は、文部科学省が告示する教育課程の基準である学習指導要領があり、その枠組みの中で教えなければならないのに対し、日本語教育にはそのような拘束はない。また、教科書についても、国語教育は文部科学省の教科書検定に合格した検定教科書しか使わないのに対し、日本語教育は様々な会社から出ている教材から適切なものを選んで使用することができる。国語教育に比べて、日本語教育は工夫次第でいくらかでも応用がきき、自由度が高いと感じるが、授業中に使用できる言葉や語彙の範囲が狭いことを考えると国語教育よりもかなりシビアであると思う。

おわりに

2週間、専任の先生方だけでなく、非常勤の先生方、事務員さんなど、たくさんの方にお世話になった。挨拶をすれば話しかけてくださったり、疑問に思ったことを聞けばとても真摯に答えてくださったりしたので、とても嬉しかった。とても良い環境で実習ができたと思う。また、実習では授業見学、テスト採点、教壇実習を主にやったが、実際は学生の生活サポート、進路指導、個別指導など様々な仕事があるということが、現場の先生方を見て分かった。自分が日本語の先生になったらこんな感じだろうか、という自分自身の将来を想像しながら取り組むことができた実習だった。実習で学んだことを活かして、これからの日本語教育に携わっていきたいと思う。

【表1】

瀬井早苗 研修プログラム 2018年10月15日(月)～10月26日(金)

	10/15(月)	10/16(火)	10/17(水) w/鈴木さん	10/18(木)	10/19(金)	
9:00 9:45	2 G 見学 佐藤 N 3 語彙 836-845	2 A 見学 中安 N 2 語彙 475-484	/	実習準備	2 B 見学 松本 N 2 語彙 791-804 漢字N 4 P77-1 漢字N 3 P42下	9:00 9:45
9:55 10:40	いつかどこかで 第5課	/				1 A 見学 中島 みんな日37課 新出単語
10:50 11:35	2 G 語彙テ採点 ↓ 昼休み			1 B 見学 堀込 みんな日36課 文練72-73	昼休み →東口校舎へ	
11:45 12:30		2 A 語彙テ採点 →昼休み				/
13:00 13:45	入学式	1 H 見学 大塚 漢字U17-A みんな日21課 新出単語		2 S 見学 佐藤 N 1 語彙 101-110 上級へのとびら 6課	/	
13:55 14:40		1 H 漢テ採点	2 S 語彙テ採点	/		/
14:50 15:35					/	
15:45 16:30		/	/	/		/

	10/22(月)	10/23(火)	10/24(水)	10/25(木)	10/26(金)		
9:00 9:45	1 C見学 村橋 漢字U37		教材研修 or 教案作成 or 授業見学			9:00 9:45	
9:55 10:40	みん日37課 A 6 B 7 文型練習帳 p85	1 G実習 瀬井 みん日17課 新出単語 A 1 - 2		1 A実習 鈴木 みん日34課 新出単語 A 1		9:55 10:40	
10:50 11:35	1 Q見学 菅井 みん日 2 課	F B w/ 佐藤 鈴木		w/佐藤 末吉 瀬井		10:50 11:35	
11:45 12:30	昼休み					11:45 12:30	
13:00 13:45	2 F見学 平松 N 2 語彙 18-38				研修レポート作成	13:00 13:45	
13:55 14:40	N 2 文法 文法B10-12	1 K実習 鈴木 みん日17課 新出単語 A 1 - 2		1 D実習 瀬井 みん日34課 新出単語 A 1			13:55 14:40
14:50 15:35	2 F 語彙ヲ採点	w/佐藤 末吉 瀬井		w/佐藤 末吉 鈴木			14:50 15:35
15:45 16:30							15:45 16:30

- ・10/15入学式はスーツで参加
- ・研修日は8：45までに校舎に来る。終了は16：00前後を予定。
- ・登壇は2回（各45分）
 - 10/23(火)9：55-10：40 みんなの日本語17課 新出単語 A1-2
 - 10/25(木)13：55-14：40 みんなの日本語34課 新出単語 A1

〈クラスレベル〉

2A・2B・2C (2017年度4月生)	: N3~N2
2D (2017年度7月生)	: N3~N2
2E・2F・2G (2017年度10月生)	: N3
1A・1B・1C・1D・1E・1F(2018年度4月生)	: みんな日初級Ⅱ L36~L39
1G・1H・1K・1L(2018年度7月生)	: みんな日初級Ⅰ L21~L23
1P・1Q (2018年度10月生)	: 入門~みんな日初級Ⅰ L1~L5